



五、六百名あまたと云ふことを五、六百人でウーリウバイレンと唱ひ、隊長はなんといふ名かと云ふことは隊長叫甚だ名字と書いてトイチアンチアオシエンミンツと稱する、

下さる様御祈り致します、亂筆ながら御禮までに、尚何卒御身休を大切に御活動下さい

と、その極に及んだものでなければ味ひぬ味である、

そのである、同被害は上述野田人方面が比較的多かつたもので其の他は大したことがない模様、なほ相場は一貫一圓二十五銭くらゐ昨年より貴當二十五銭ほどの高値である

修旅は昨日八日早朝平發で東都から江の島、鎌倉方面を見學二泊三日間で十日歸校する

はれ取調中だが發つた現金は遊興に費消してゐる

動力利用粉摺業の協定料金協議會

指定料金の實行打合せ

石城郡動力利用粉摺業者組合では粉摺及び脱穀盛期に先き立ち明後十一月一日午後一時から平市石城郡利組合事務所樓上に役員會を開き協定料金協議會使用組合聯合會に於て協定の認可を得たる左記の協定の標示その他協定料金につき協議を経て十六日午前十時から平市公會堂に當り二百八十九名を會し實行を申合せ各等であるが同認可は物價調整上必要のとき又は不都合の行爲あれば取消されることになつてゐる

▲粉摺(玄米出来上り一俵四斗に付)料金廿五銭
▲夏摺及び郡内川前、上下小川、三坂、澤渡、永戸、箕輪、上遠野、入遠野、田人、石住、荷路夫、貝泊村、利組合(玄米一俵四斗に付)四十銭、但し前段の地域は四十五銭▲精麥(一俵正味十二貫に付)八十銭▲脱穀(一日に付)自前七時至午後五時の十時間)十三圓、一時間に付一圓五十銭、一俵に付(二俵束)二圓五毛、大麥一俵に付(正味十二貫)四十銭▲小麥二俵に付(正味十六貫)五十五銭以上

戦地の吹く風も涼しく 故郷を偲ぶ虫の音

平市長橋町出身 和出義雄

謹啓、時下秋の候と相成りました、銃後皆様には益々御健にて銃後の任務に邁進なされ居ることを深謝いたします、降つて私儀思ひながら御無音に打過ぎ申謝ございませぬ、御蔭様にて無事御奉公致し居ります故御安心下さい、これ偏に皆様の赤誠の賜ものと存じ居ります、此の度もまた御厚志の慰問品に接し有難く頂戴致しました、早速御禮申上ぐる筈でありました、が四月より〇〇大作戦に参

第一線に息吹くもの

炎熱と水の絶する苦難

北京華北交通會社自動車部技術課 花澤輝一

夏の討行は苦熱との闘ひである、この苦しさは一生忘れないと、日中百三十度といふ中に灼きつけられて、敵の道路妨害を修復しつゝ、敵を求め、道なき山岳地帯を越え、流れてゐる水、苦しさ、兵隊たちはこんな簡単な言葉で表現してゐる、この苦しさの寸分よい、銃後の人々に知つて貰ひたいと思ふ、出るだけの汗は出盡し、兵隊さん達の背中の汗が乾くと白い鹽分が浮き出て来る、身体は蒸氣を失つた「マイラー」のやうにカサカサとなる、汗は乾き切つた河のみが恨めしく流れてゐる、

満州移住分村状況視察團

石城郡渡邊村々長中澤豊氏は縣から派せられる満州移住分村状況視察團の一人として十日福島縣渡邊村の途につくが今月下旬歸村の予定の由

石城の特産 蒟蒻平年作

病害割合に妙し 石城郡南部の特産物蒟蒻は本月下旬頃から生玉の收穫期に入ると一時氣遣はれた根腐れ病の被害も割合に軽くすみ平年作六萬八千貫にはこぎつけ

平市参事會

平市では明日午後一時から市税調査に關して市参事會を開く

青年校筑波登山

筑波青年校々友會山岳部では一行五十名今日朝高木、渡邊兩先生引率出發、筑波山に登山皇軍の武運長久を祈願して今夕歸校する

水だ、水、水、だから山岳地帯の討行は、また水との闘ひである、苦力たちは何をあいても、大きな一升瓶だけは手からはなさない、

部屋に入つて行くと、兵隊は蜘蛛の子を散らしたやうに民家に向つて殺到する、そして水の入つた壺を探り出して息もつかずに飲む、或る兵隊さんなどは、そのまゝ首を突込んで、一息に飲んだが、あとからプーンと嫌な臭いが鼻をつくのでよく調べて見たら小便の壺であつた、といふよ

時局と勞務動員

かやうにして、國民のすべてが勞務動員に協力することを目指すのはその完備を期する所以であり、國家總動員態勢の完成を見る所以である、

産組青年座談會

産業組合縣支會では組合青年の活動を促進すべく巡回座談會を催してゐるが石城方面では左記日割場所において同會を催す

留守宅から

釜山で百廿圓に 仙台市原町生れ前科三犯猪狩今朝松(三)は去る九月六日平市警署跡跡下しもさん方不在に忍びラヂオ一台と布團及び衣類數點を窃取し市内紺屋町の友人野崎明光に百二十四圓賣却したこと發覺去る七日内郷村級地内を徘徊中平警に捕

松竹直營

松竹直營 觀覽料：大五〇、小一五

時局と勞務動員

(31) 厚生省

かやうにして、國民のすべてが勞務動員に協力することを目指すのはその完備を期する所以であり、國家總動員態勢の完成を見る所以である、

二、勞務動員と雇傭主、先にも述べたやうに、勞務動員とは單に勞務者を集めることだけでは不十分であつて、集つた勞務者の保護を爲し、勞力の維持増強を圖ることが最も大切である、從來勞力の比較的に潤澤にあつた時代には、勞力の維持増強を圖り、消耗された勞力は容易に新陳代謝できるといふ理由から、その保護乃至は増強の方法を講ずるに十分の感みがあつたのである、しかし、今や勞力は拂底し、その補充は困難な事態となつたのである、現在また從來の産業と異り、現在

の高度化された工業において優秀な勞務者を要求してゐるのであつて、勞務管理を刷新して勞務者の保護を十分に行ひ、勞力の維持増強を圖ることが重要なこととなるのである、そしてまたかくすることによつて、現在生産を阻害する原因となつてゐる勞務者の移動も或る程度防止できるものであることに留意すべきである、

次に現下の勞務状況に鑑み雇傭主としてできるだけ勞力の濫用を避けることに努めるべきである、

十月十日 上映

愛の暴風

京都の女王北見麗子が大船現劇中に初出演、上原謙、佐分利信、桑野道子、其他

血煙神田祭

澤村國太郎、河部五郎主演 日本ニュース十七編

怪談道中

主演高田浩吉、藤井貢、伏見直江、

松竹直營

觀覽料：大五〇、小一五

植田武徳大會

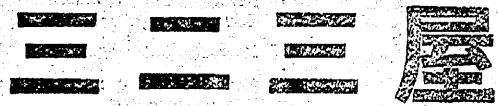
廿三日植田校で 植田管内武徳會分會主催の武徳大會は来る二十三日植田小學校に於て開催されるが優勝旗争奪に勇ましい合戦を見らるであらう

三割増産確実 製炭の理想型

東京営林局の推奨
石川式の炭焼き窯
東京営林局に於ては本年八月中旬本縣及び茨城縣下における十六營林管長と研伐主任を本縣東部の富岡營林管下にある小塚木炭試験地をめぐつて本局から鈴木事業部長工藤作業課長等が出張、國有林の木炭増産協議會を開催なし企業あり、且つ合理的な木炭生産の方法を協議し第一義的に炭窯の選定が最も肝要であるとして小塚試験地に比較試験のため設置されてある石川式、小塚式、三浦式、柄澤式、大瀧式等の五種の炭窯について検討した結果、滿場の見るものが一致して「石川式」こそ各營林管の事業所に於て設置すべきものとなり尙ほ一般民間にもこの窯を普及させて木炭の増産をはかる方針に決定して、東京営林局の奨励案となつた。

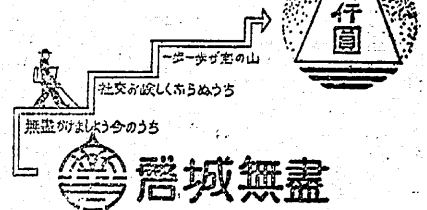
この石川式炭窯の考案者は富岡營林管長の石川氏であつて、同氏は製炭の採算がよく一般にも容易に理解がついて、習得の出来る方法が研究された結果、結局炭窯は形態に關係なく装置の如何によるものであることをさとつて、通風、排煙加熱の完全なる組み合わせによつて機械的な操作を決定し作業を簡易ならしめ、これまで難澁極まる作業苦を排除し、かつ未炭化分や灰化分が相當多く生ずるものを絶滅出来る三割増産確実な製法を考案するに至つた。

肉の御用命は



牛も豚も優良品の自慢

貯蓄は無盡で



無盡城

大小の御宴會にホール
御家族の御同伴に御座敷
いつも材料を吟味して居ります

マルトモ食堂

平市四丁目(電話二二三三)

平田町(三丁目裏川岸通)
明雲堂眼科醫院
入院應需(自炊の便あり)
電話六六九番

飲食 喫茶
酒場を兼ねた。

サザン

平市銀座街
電話五九二番

營業時間
開店：午前十時
御食事は午前十一時より、
閉店：午後十一時限り、

内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森勇
平市南町 電話二五八番

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

平市田町
高久病院
院長 醫學士 高久忠

和洋銅器、金物問屋

荳屋商店

九九・九番

債券、公債
両替、金融
多田井質店
平市大工町 電話五九二番

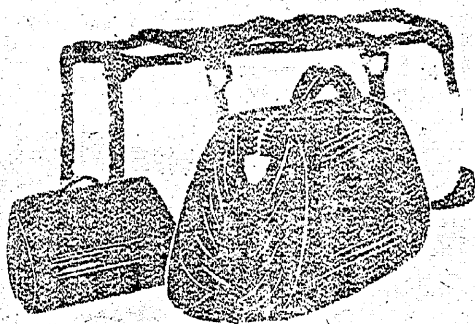
診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、矯正工科、
齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
二、口腔外科
レントゲン科
平市田町(松月堂向い)

中野齒科醫院
電話五〇九番
院長 日本齒科醫學士 中野憲次
日大醫學士 鹽谷伍郎
主任 佐藤重隆

御婚禮着付
和洋結髪
パマネット・ウエーブ
何卒御用命の程を
手塚美容院
平市新田町
(徒弟入用)

安田系統の帝國海上
帝國保險株式會社
海上 火災
平代理店 關内正一
事務取扱者 阿部助次郎
平市三丁目 電話一六番

カバコン洋品類



眞砂屋 (平市前驛) (新道通) (電話五六五)

男女
車掌募集 數名
年齢 16 - 19
— 未経験者ニテモ可 —
— 給料其他委細面談 —
平市驛前
野崎交通自動車株式會社
電話三〇三三